

スーパー大区画通信



スーパー大区画導入実証事業の最新情報をお知らせします！

Vol.3(2016.10)

農政部農地整備課
下都賀農業振興事務所

第2回スーパー大区画導入実証検討会を開催しました

平成28年9月30日(金)、2回目となるスーパー大区画導入実証検討会(以下、検討会)を下野市内の実証ほ場及び南河内公民館会議室で開催しました。

現地では、耕作者の感想等交え実証ほ場の状況について確認、次いで会議室に移動し、事務局より「大区画化により作業時間の節減がみられる。引き続きデータの収集・検証を行っていく。」など中間報告を行いました。

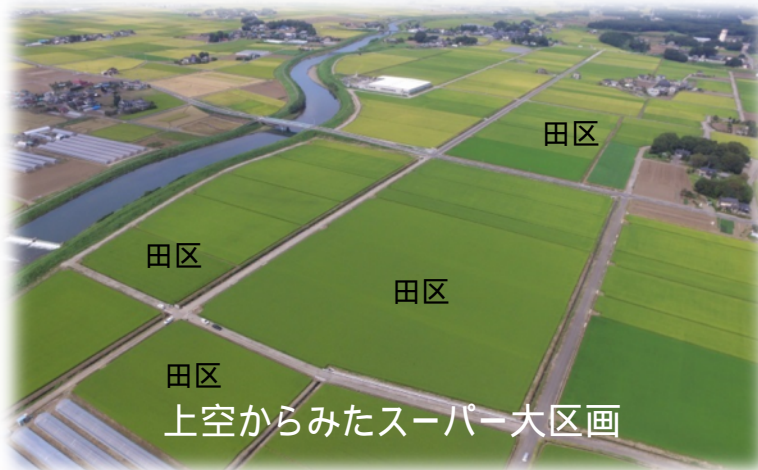
耕作者からは「水回り代掻きが心配であったが、順調に作業が進んだ。特に代掻きは作業効率が上がったと感じる。」などスーパー大区画における作業について報告されました。



現地での説明



検討会の様子



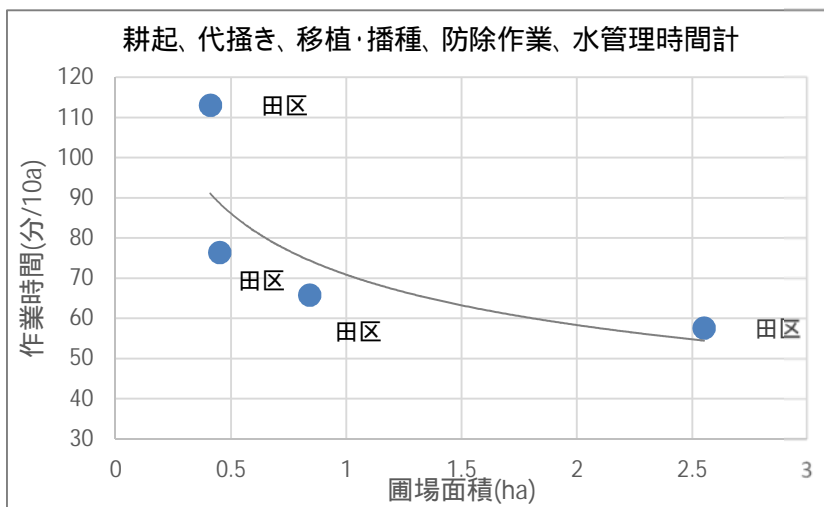
上空からみたスーパー大区画

圃場条件等

田区番号	面積 (ha)	長辺 × 短辺 (m)	作付状況		自動止水栓の有無
田区	0.85	120 × 70	移植	5/27	
田区	2.60	150 × 170	移植	5/30	
田区	0.39	88 × 47	湛水直播	5/23	
田区	0.46	78 × 58	移植	5/26	



調査結果（中間報告）



- 耕耘、代掻き、移植・播種、防除及び水管理の10a当たりの作業時間の合計(8月末時点)は、田区が最も短時間となった。
- 大区画化による機械作業時間の節減に加え、水管理箇所(取水口)数が減ることから、水管理作業時間の節減が見込まれる。

今後の予定

(調査)

- 労務調査(収穫時期)
- 収量及び均平調査

(分析)

- 労務調査、湛水位調査及び収量調査結果等をもとに大区画化による効果、想定される課題の分析を行う。



11月上旬: 収量・均平調査
1月下旬: 第3回検討会